

## 第106回:大荒れの重慶

ホットニュースである。中国の重慶市で政局の嵐が吹き荒れ出した。今秋10年ぶりの政権交代が行われる中国。中国共産党員、約八千万人のトップ9人、即ち中国共産党中央政治局常務委員会メンバーのうち習近平(58)・李克強(56)を除く7名の退任がほぼ決まっておろ、新常務委員を目指して党内では昨年より水面下で権力闘争が繰り広げられてきたという。

そのなかで派手な動きを見せてきたのが太子党の有力メンバーで重慶市書記の薄熙来(62・はくきらい)である。2007年に商務相から重慶市のトップに転出した薄熙来は翌年、遼寧省錦州市公安局長の王立軍(52)を重慶に呼び寄せて公安局長に任命し、重慶の政財界に巢食っていた暴力団一掃の指揮を執らせた。その結果、公安局を含む多数の重慶市幹部や財界の大物が摘発された。なぜ王立軍が遥か遼寧省の彼方から重慶に呼び寄せられたかといえば、彼は薄熙来が遼寧省省長をしていたときの腹心の部下だったからである。彼は昨年重慶市の副市長(公安局長兼務)に昇進した。

重慶市は北京・上海・天津と並ぶ中国の四大直轄市である。西部開発プロジェクトの中心となる要衝の地であり、党中央はこれまで大物政治家を重慶に派遣してきた。薄熙来の前任者は、現広東省党書記の汪洋(56)。汪洋の前々任は現政治局常務委員の賀国強(68)である。

欧米の多くの政治家から野心家と呼ばれている薄熙来は歴代の重慶市トップが手を拱いてきた暴力団との癒着に敢然と挑戦した。これは大変勇気の要る行動で、重慶市民の大喝采を浴びたが、政敵から見れば18回党大会に向けた見え見えの政治的キャンペーンと映ったことから大きな政治軋轢を生んでしまった。薄熙来がチャレンジした前任者は大物揃いである。汪洋は李克強、李源朝(61)と並ぶ胡錦濤(69)率いる共青団派の大幹部。一方の賀国強は江沢民派の領袖でその職務は泣く子も黙る「規律検査委員会主任」である。共産党幹部の犯罪や不祥事が発覚すれば、公安や検察が手入れに入る前に身柄を拘束し、裁判所より先に結論を下す、むかしの日本でいえば検非違使か大目付のような怖い存在である。

薄熙来の政治キャンペーンは暴力団狩りに留まらなかった。彼は重慶で革命歌を熱唱し、毛沢東思想を学習するよう提唱し、この「唱紅打黒運動＝共産主義(紅)を称え、暴力団(黒)を討つ」キャンペーンを昇進の突破口に決め打った。これに温家宝首相(69)が噛みつき、名指しこそしなかったものの毛沢東の文化大革命時代へ回帰するかの如き運動に強い牽制球を投げた。胡錦濤総書記はキャンペーンの批判は行っていないが、薄熙来が重慶市書記に就任して以来一度も重慶を訪問していない。子分の汪洋がいる広東省は去年三回も訪問しているのである。

その暴力団追放運動で八面六臂の大活躍をしてきた王立軍副市長だが、重慶市は2月2日、王氏は今後公安局長を兼務せず、副市長として科学教育分野を担当すると発表した。これに対し一部のマスコミは今秋の共産党大会で最高指導部入りがある有力な薄熙来が、暴力団追放運動のなかで多くの敵をつくってしまった王立軍を庇い、彼の将来のため身の危険の及ばないポストに転任させたのではないかと報じた。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

ところが昨夜、一部の海外メディアが「王立軍氏は7日の夜、四川省成都の米国総領事館に駆け込んで保護を求めたが拒否され、身柄を中国当局に拘束された云々」という情報を発信し始めた。

俄かには信じ難いニュースだと思っていたら、米國務省のビクトリア・ヌーランドが登場して事件が一気に白熱を帯びてきた。ヌーランド女史とは野田内閣が誕生したとき、記者団から野田首相はここ数年で何人目の首相だと問われ、答えられず舌を出して笑ってしまった國務省報道官である。彼女は本件につき、王立軍副市長が成都の総領事館を訪問し、館員と面会したことを明らかにした。報道官は訪問目的について「答えられない」とした。報道官は王氏が面会后に「自分の意思で総領事館を去った」と述べ、その後の彼の状況は「不明」としている。王副市長の担当職務変更の人事異動が行われてまだ一週間も経っていないが、中国当局は急遽「王氏は体調不良のため、いま休暇を取得中」と発表した。

事実関係は以上である。英語でいえば、touchy、金融用語でいえば「機微情報」、極めてデリケートな情報である。詳しくは続報を待つ必要があるが、中国のような国において、王立軍氏のような要人が米国領事館に駆け込んだのは、誰かに殺されるか逮捕されるかと思ったからに違いない。

この事件が18回大会の首脳人事に影響を及ぼす可能性は大きいだろう。少なくとも薄熙来にプラスに働く理由はない。もちろん、この不祥事を乗り越えて薄熙来が常務委員に昇格する可能性もあるが、少なくとも彼が公安・司法・諜報を担当する「政法委員会書記」や、党幹部の不正を摘発する「規律検査委員会主任」のポストに就く可能性は消えたことになる。いま規律検査委員会の主任は前記の賀国強（序列8位）であり、政法委員会の書記は周永康（69・序列9位）である。

この周永康という人物は、むかしペトロチャイナ（00857.HK）の親会社の中国石油天然気集団のトップを勤めていたことがある。石油会社出身者が公安や司法の大元締めとは奇異な感もあるが、昨年まで海南省の党書記であった衛留成（65）は中国海洋石油（00883.HK）の出身であり、昨年福建省の省長に栄転した蘇樹林（51）はシノペック（00386.HK）の経営者出身である。中国の基幹産業で香港に上場する大手企業と云えば石油、銀行、通信が思い浮かぶが、この顔触れが示す通り石油企業は中でも別格官幣大社なのである。政治コラムばかり書いていると、苦虫を噛み潰す人もいるかもしれないので最後は強引に石油銘柄を引きずり込み、中国株コラムに関連付けてしまった……。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年2月9日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行（現三菱UFJ信託銀行）入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識（時事通信社）、中国ビジネス笑劇場（光文社）等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。